

室蘭 ← 洞爺湖運行 1 カ月

病院往復バス好調

151人乗車、連携も進む

製鉄記念室蘭病院（室蘭市知利別町）と洞爺温泉病院（洞爺湖町）を結ぶ無料シャトルバス「つばさ号」が好調な滑り出した。8月1日のスタートから31日までの1カ月間で、患者や見舞客など計151人が乗車した。両病院間の役割分担も見え始め、担当者は「バスの効果が出始めている」と手ごたえを感じている。

（相沢宏）

シャトルバスは、積極的な治療を行う「急性期医療」を重視する製鉄病院と、がんの緩和ケアなど「長期療養」を中心とする洞爺病院との連携と、見舞いの利便性を高めようと始まった。

道南バスに委託し、8月1日から、土日と祝日を除く1日2往復運行。いずれも20人乗りの車両を使い、約50キを1時間半で結ぶ。利用の事前申し込みは不要。

製鉄病院によると、8月は22日間運行し、

製鉄記念室蘭病院と洞爺温泉病院を結ぶシャトルバス「つばさ号」

乗車ゼロの日はなかった。週を追うごとに乗車人数は増加し、延べ人数で1週目は39人、2週目は42人、3週目は70人だった。お盆の帰省時期の15日は、家族らの見舞いが増え、11人が乗車した。最も多い日は26日の14人。

製鉄病院の緩和ケア外来などで長期療養が必要と判断された患者が「バスがあると家族に安心」として洞爺病院に転院するケースが7～8件あった。洞爺病院の入院患者を見舞うため登別市内の家族が自家用車で製鉄病院に行きシャトルバスを利用したり、洞爺病院の患者がシャトルバスで製鉄病院を受診したりした例もあった。

製鉄病院は「予想を上回る利用。洞爺病院との連携も進んでいる。ぜひバスを治療や見舞いに役立ててほしい」と呼びかけている。